

しらすぎ・無所属クラブ



新型コロナ感染症対策及び
龍城ヶ丘の公園開発を問う
端 文昭 議員

問 新型コロナウイルス感染症総合対策にある新生児特別給付金、妊婦に対する移動支援及び中小企業等応援金の取り組みを伺う。

市長 新生児特別給付金では、国の特別定額給付金の対象とならなかった新生児に対して10万円を支給する。妊婦に対する移動支援では、令和2年4月1日から12月31日までに母子健康手帳の交付を受けた妊婦と、本市に転入した妊婦を対象に1万円分のタクシー利用券を交付する。中小企業等応援金では、県が発行する感染防止対策取組書を掲示している事業者者に5万円を支給する。

問 8月31日現在の本市の累計感染者数は80人で、人口1万人当たりの感染者数は3.10人である。県内市の中で、秦野市、伊勢原市に続いて3番目に低い感染者密度であるが、本市の感染者数が少ない理由と、検査人数や陽性率を伺う。

健康・こども部長 本市では集団感染は確認されておらず、感染者数は一定程度に抑えられている。PCR検査の結果、陽性の場合には医療機関が県へ届け出る義務があるため感染者の情報を県が把握できるが、陰性の場合には届け出の義務がな

問 一昨年の6月議会でも可決された債務負担行為の限度額は12億円であった。限度額はこれまでも変更してきたし、状況次第で変わるものである。事業者案の予

問 本市の感染者が少ないのは、検査数が少ないからではないか。

健康・こども部長 むやみに検査を広げることは医療提供体制の問題もある。現時点ではさまざまなリスクがあり、検査を広げることが難しいと考えている。

問 市が保健所を設置、運営する保健所政令市を目指すべきではないか。

福祉部長 感染症対策で保健所の役割の重要性は認識している。設置について研究を重ねる必要がある。

龍城ヶ丘ゾーン公園整備・管理運営事業

問 市民意見募集は事業計画の賛否を問うものではないのであれば、事業計画の賛否を問うアンケートを、全市民を対象に行うべきではないか。

都市整備部長 昨年の6月議会でも、債務負担行為の限度額16億円の予算が認められている。その後、事業者を選定し、プランも出来上がっている事業である。今から事業の賛否を問うことは全く考えていない。



指定管理者の評価
平塚市の未来を見据えて
白井 照人 議員

問 指定管理者を評価するモニタリングの導入によりサービスマン向上や経費削減につながった事例を伺う。

企画政策部長 余熱利用施設では、土日や祝日、平日夜間に各種教室を開催することで利便性が向上した。パークゴルフ場では、接客マニュアルの徹底などにより対応を改善した。

問 従業員が高い満足度で働けているかは、どのように評価するのか。

企画政策部長 労働条件の適正運用や福利厚生への配慮などを評価しているが満足度の評価はしていない。

問 従業員の満足度が高ければモチベーションも上がり、より良い施設運営ができる。他市のように社会保険労務士による労働条件の評価を導入してはどうか。

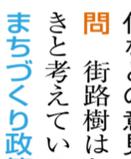
企画政策部長 市は人事や給与には関われないが、職場環境は改善されるべきと考える。他市のようにシス

算を可決した訳ではないと思っている。見解を伺う。

都市整備部長 新たな制度であるPark&PFI制度で公園の整備と維持管理を20年間行う。昨年6月に令和2年度までの限度額16億円が決まったので、それによって事業を進める。

問 市長は記者会見で、反対の声は数的に全体を通して多くないと思うと発言している。市長は、昨年の教育委員会や花水公民館で行われた住民説明会にも出席していないが、どこで話をし、話を聞いてきたのか。

市長 議会での議論を含めていろいろなところで意見をもらっている。その総合



東海道本通り景観整備
まちづくり政策部長
植栽に関する意見が多く、松並木を希望する意見や、ムクドリの被害などを防ぐため高木に反対する意見があった。ベンチの設置や無電柱

問 東海道本通り線等景観整備について市民意見を募集した。その結果を伺う。

まちづくり政策部長 植栽に関する意見が多く、松並木を希望する意見や、ムクドリの被害などを防ぐため高木に反対する意見があった。ベンチの設置や無電柱

問 旧市民センター前の歩道橋はどうするのか。

まちづくり政策部長 老朽化しているため、平塚警察署などと調整し撤去に向けた設計委託を進めている。

問 東海道本通り線全体の景観整備について基本構想を策定すべきではないか。

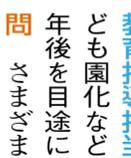
まちづくり政策部長 街区ごとに計画したいと考えて

化などの意見もあった。

問 街路樹はどう整備すべきと考えているのか。

まちづくり政策部長 低木などを中心に検討しているが、地域住民と意見交換をして決めたい。

問 旧市民センター前の歩道橋はどうするのか。



ひばり幼稚園の方向性
公立幼稚園の統廃合が進む中、ひばり幼稚園は当面存続する方向性としたが、検討の詳細を伺う。

教育指導担当部長 検討会を設置し、公立園の在り方や、配慮が必要な子供の現状、小・中学校との連携など幼稚園の役割や課題を検討した。これらの議論を踏まえ庁議で決定した。

問 在り方を再検討するとあるが、どう進めるのか。

教育指導担当部長 現時点で、学習支援ソフトを活用して家庭と学校で課題のやりとりができるような仕組みづくりは整いつつある。

問 学校のネットワーク環境とタブレットが揃わなくても、WiFi環境がある家庭にはタブレットを貸し出し、環境がない家庭に

し、選定をやり直す必要がある。市長の見解を伺う。

市長 今まで取り組んできたものを白紙に戻して、この計画をなくすということは一切考えていない。

このほかの質問 相模小学校建築・工事請負契約の締結について 図書館の管理運営について

教育指導担当部長 認定子ども園化などについて、5年後を目途に検討する。

問 さまざまな課題を5年間で行うとして、成果を民間園に示してはどうか。

学校教育部長 現在も小学校との交流などの取り組みを行っている。機会があれば他園に紹介したい。



民間園同様に3年保育などを導入してはどうか。

学校教育部長 導入は園の運営に大きな影響を与える。私立幼稚園との協議も必要であり、市全体の幼稚園事業を見極めながら考えなければならぬ。

産業振興部長 キャッシュレス決済の利点を市民へ訴えることは大事であるので、意を用いていきたい。

問 事業者を随意契約ではなく、公募型プロポーザル方式にするなどして、より良い選定をしてほしかったと思うが、見解を伺う。

産業振興部長 できるだけすぐに始めたいという考えから随意契約としたが、ほかの事業者とも比較、検討して、市の考えているやり方に合致した事業者を選定した。

このほかの質問 インフルエンザ予防接種の助成

は学校のパソコンルームや図書館、市役所などのインターネット利用を許可すればよいのではないかと。

教育指導担当部長 WiFi環境のない子供たちに学校へ登校して勉強してもらうことや、公共施設の利用についても検討していきたい。

ひらつか☆スター

ライトポイント

これまでの国のポイント

インフ

しらすぎ・無所属クラブ 所属議員

 江口 友子 議員	 金子 修一 議員	 府川 勝 議員
---	---	--